

地域内連携から地域間連携を考える —北信越地区における教育システム情報学研究の活性化のために—

オーガナイザ： 2013年度教育システム情報学会全国大会実行委員会
松本 豊司 (金沢大学)、香山 瑞恵 (信州大学)

2012年度までに、3回の地域別学生研究発表会を行うことで、教育システム情報に関連する学生の研究を介した学術的連携の仕組みが構築されつつある。しかし、特に、北信越地区においては、教育工学や教育システム情報学に関わる研究者の数は各大学単位のみならず各都道府県単位でも多くはない。学生および研究者の研究レベルを上げるためには、都道府県単位での地域内に限らず、地域間での大学連携の取り組みが有効と思われる。教育システム情報学会においては、支部という単位での地域間連携がすでに有機的に機能している。また、都道府県単位での、教育システム情報学にとどまらず、広い研究分野や教育分野における地域内連携が積極的に勧められている。これらの成功事例の運営を参考に、北信越地区での教育システム情報学に関する地域間連携による研究活動の活性化の糸口を検討する。

■ 開催日時：9月2日 (月) 9:00~11:50

■ 内容

前半では以下の登壇者による、事例報告があります。

・既設支部での活動事例

+中国四国支部より

松原行宏先生 (広島市立大学大学院)

・地域内連携の事例報告

+コンソーシアム石川より

堀井祐介先生 (金沢大学)

「地域連携・企業連携教育プログラム構築における ICT 活用

—大学間連携共同教育推進事業、ポータル、LMS、eポートフォリオ—

+高等教育コンソーシアム信州より

矢部正之先生 (信州大学)

+福井県学習コミュニティ推進協議会 (フレックス) より

山川修先生 (福井県立大学)

・学会間連携の可能性の検討

+IEEE Education Society Japan Chapter / 電子情報通信学会教育工学研究会

國宗永佳先生 (信州大学)

+情報処理学会教育学習支援情報システム研究会

山川修先生 (福井県立大学)

後半では、参加者のみなさんを交えて討論を行います。